

教員個人調書 履歴書（様式1）に係る作成上の注意

（注意）枠外下段にページ番号を通し番号で記入ください。

① 氏名、生年月日（年齢）等について

- ・「氏名」については、研究活動上用いている名前と本名が異なるときは、本名を（ ）書きで記入してください。
- ・「年齢」は履歴書作成時の満年齢で記入してください。
- ・「国籍」には、外国籍である場合にのみ国名を記入してください。

② 「学歴」欄について

- ・大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む）を有する場合、これらの学歴（授与された学位及び称号を含む）を全て記入してください。それ以外の場合には最終学歴を記入し、中途退学も省略せずに記入してください。
- ・博士課程において所定の単位を取得し、博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
- ・卒業証書等を確認し、大学の学部、学科、課程、専攻、コース及び大学院の研究科、課程、専攻、コース、学位の種類等を正確に記入してください。
- ・修士及び博士の学位については、学位番号（〇〇大学 第〇〇号）と付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
- ・学位、称号のほか、教員、看護師等の資格なども登録番号等を含めて正確に記入してください。
【例】看護師免許取得（平成〇〇年〇〇月〇〇日 第〇〇〇〇〇〇号）
- ・学生としての外国の大学や研究機関への留学歴についても記入してください。（研究者としての留学については「職歴」に記入）
- ・外国における資格については、正確に記入するとともに資格の内容を日本語で併記してください。

③ 「職歴」欄について

- ・職歴の全て（自営業、無職等を含む）を記入するとともに、職名・地位等についても明記してください。
- ・各職歴について、いつからいつまでの形で在職期間を明確に記入し、現職については、必ず「現在に至る」と記入してください。（月の途中における採用や退職については、日付まで記入してください。（〇月〇日から、〇月〇日まで））
- ・研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。（学生としての留学については、「学歴」の欄に記入してください。）
- ・過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期（年月）、大学の名称（学部学科名・研究科名を含む）、職名（職位）、担当授業科目の名称（大学院にあっては判定結果を含む）を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期（年月）、高等専門学校の名称、職名（職位）、主な担当授業科目の名称を記入してください。
【例】博士課程の研究指導教員（D〇合）・博士課程の研究指導補助教員（D合）・修士課程の研究指導教員（M〇合）・修士課程の研究指導補助教員（M合）、審査年月、大学名（学部学科名・研究科名を含む）、職名（教授・助教授等）、担当授業科目名（〇〇看護学特論等）
- ・大学等の教員の職歴（非常勤も含む）については、主な担当授業科目を「 」で併記してください。

④「学会及び社会における活動等」欄について

- ・本人の専攻、研究分野に関連する事項について、学会活動と社会における活動等を分けて主要なものを記入してください。
- ・所属学会の名称は正確に記載し、いつからいつまでの形で在職期間を明確に、継続している場合には「現在に至る」と記入してください。また、役職については、任期を必ず付記してください。
- ・公的機関、学会等における資格等についても正確に記入してください。（取得年月日、登録番号等を付記）
- ・社会における活動は、国・自治体等の審議会等の委員等についても記入してください。
- ・文部科学省（科学研究費補助金）、厚生労働省（厚生科学研究費補助金）及び財団法人等からの助成金の取得状況についても、取得年度、研究費の名称、補助金額、代表者・分担者の別等を明記してください。
- ・教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

⑤「賞罰」の欄について

- ・学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

⑥「職務の状況」の欄について

- ・職務の状況欄については、履歴書作成時における職務の状況について記入してください。
- ・非常勤についても記入してください。
- ・勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。